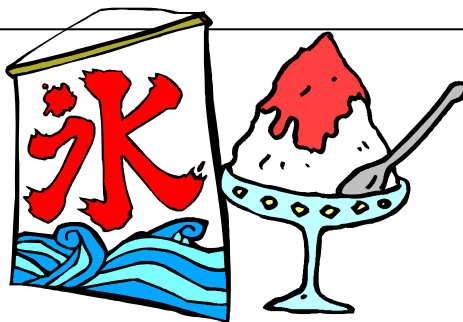


産地直送便



発行（農）山形おきたま
産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net/>
2011.8.1 発行
責任者 星 隆之

産直米購入継続のお願い

日頃、農事組合法人 山形おきたま産直センターをご愛顧頂き誠にありがとうございます。今年も間もなく秋の収穫を迎えようとしております。現在の所、稲は順調に生育しており収穫が待ち遠しい所でございます。

<2011年産米お届け期間>

----- 2011年10月~2012年9月 -----

お届け内容の変更等のある場合は、各組織又は当センターまでご連絡下さい。

継続ご希望の場合は、ご連絡の必要はございません。

自動継続とさせていただきます。

2011年産米も引き続きよろしくお願い申し上げます。



今年も新米アンケートを予定しております。
詳細は、10月の産地直送便に記載、お楽しみに!

おきたまの葉月

お米 8月は、稲がカメムシの被害にあいやすい時期です。害虫のすみかを無くすため田圃の周囲や道路の草刈りを行います。対策用チラシを組合員に配布するなどして、個々に対応にあたります。

野菜 スイカ、カボチャの出荷が8月中旬で終わります。収穫後は株の抜き取りやつるの片づけを行い、秋野菜の準備をします。

果物 ぶどうの収穫作業が始まります。糖度計で甘さを計りながら、食味優先の収穫を行います。8月上旬頃から主力品種であるデラウェアなどの出荷が始まり、下旬頃から大粒の高尾などの出荷が始まります。

今年も『高級大粒ぶどう』ギフトを企画致しました。

別紙注文書をご覧ください。



8月コラム 「田んぼの生きもの調査」

こんにちは。田んぼの生きもの調査隊隊長の目黒です。先月に続き2ヶ月連続での登場となりますが、今回は7月9日に開催した「田んぼの生きもの調査」の様様をご紹介します。

この日の調査は「一般市民参加型の調査」として企画し、地元のご家族連れ、置賜農業高校、研究機関、それに産直センターの組合員など80余名が参加。天気も良く、とてもにぎやかな雰囲気での調査となりました。生きもの調査というと“自由に生きものを探すだけ”とイメージされる方も多いと思いますが、私たちの調査では“少しでも田んぼや環境のことを知ってほしい！”という思いから、



- ① 田んぼと自然環境との繋がり、生きもの調査の意義等の説明（座学）
- ② 田んぼ、ビオトープ（溜め池）、用水路等に棲息する生きもの調査
- ③ 土（泥）の中に棲息する小さな生きもの調査
- ④ まとめ（座学）

という流れを基本におこなっています。この日も説明をおこなった後に「交流田んぼ（有機栽培）」へ移動し、4班に分かれて生きものたちの大捜索をおこないました。大人も子供も学生さんも農家もみんな汚れを気にせず張りきって探してくれ、集計の結果36種類もの生きものたちを見つけることができました。限られた時間内でさほど専門的な分類をしていないことを考えると、なかなか多い数だと思います。そんなこんなであつという間の2時間半となりましたが、みなさん楽しんでくれたようで良かったと思います。生きものたちにはちょっと迷惑な時間だったかもしれませんがね^_^;

最後に。「田んぼの生きもの調査」はそれ自体で十分楽しいイベントなのですが、様々な立場の人が田んぼで同じ空間を過ごすことにこそ大きな意義があるのではないかと個人的には思っています。自慢の田んぼで楽しんでいただくこと、関心を持ってくれる人が増えることは私たちの大きな励みになりますし、“違う視点”を知ることに大きな意味があります。今後も「楽しくてためになる調査」を開催していけるようスタッフ一同がんばっていきますので、お近くの方も遠方の方も、機会がございましたらぜひご参加いただきたいと思います。

目黒 祥一



暑中お見舞い
申し上げます